



会津果樹情報第1号

今後の気象条件によっては果樹の生育が早まることもあります。
防霜対策・各種病害虫対策を！



令和8年4月8日
福島県会津農林事務所 農業振興普及部
JA会津よつば あいづ西部営農経済センター

1 気象概況

表1 月別気象表（アメダス：会津若松）

月	半旬	平均気温 (°C)			最高気温 (°C)			最低気温 (°C)			降水量 (mm)			日照時間 (hr)		
		本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年比 (%)	本年	平年	平年比 (%)
3	1	4.5	1.9	2.6	9.4	6.4	3.0	0.8	-2.0	2.8	5.5	11.9	46.2	21.6	20.5	105.4
	2	3.1	2.4	0.7	8.4	7.1	1.3	-0.8	-1.6	0.8	8.5	13.0	65.4	18.8	21.1	89.1
	3	3.6	3.1	0.5	9.2	8.1	1.1	-0.5	-1.3	0.8	0	12.7	0.0	19.9	22.8	87.3
	4	5.9	3.9	2.0	13	9.3	3.7	-0.2	-0.7	0.5	2.5	11.6	21.6	33.1	24.4	135.7
	5	6.7	4.8	1.9	14.2	10.4	3.8	-0.8	0.0	-0.8	0.5	11.7	4.3	36.6	25.2	145.2
	6	12	5.9	6.1	18.8	11.7	7.1	6	0.9	5.1	6	14.2	42.3	39.3	31.2	126.0
平均・合計		6.0	3.7	2.3	12.2	8.8	3.3	0.8	-0.8	1.5	23.0	75.1	30.6	169.3	145.2	116.6
4	1	11.2	7.2	4.0	15.7	13.3	2.4	6.9	1.9	5.0	0.0	11.0	0.0	13.4	26.9	49.8

会津若松市の令和8年3月の平均気温は6.0°C（平年比+2.3°C）で、平年より高く推移しました（表1）。降水量は23.0mmで平年比30.6%と少なくなりました。仙台管区气象台の東北地方の1か月予報（4/4~5/3）によれば、暖かい空気に覆われやすいため、**向こう1か月の気温は高く、特に期間のはじめはかなり高くなる見込み**です。また、東北日本海側では、天気は数日の周期で変わる見込みです。

2 発育状況（4/7現在、会津若松市）

今年の各樹種の発芽は、りんご（ふじ）が3/28で平年より5日早くなり、もも（あかつき）が3/24で平年より3日早くなり、かき（会津身不知）が4/2で平年より7日早くなりました（表2）。

東北地方では向こう1か月の気温が高いことが予報されております。防霜対策の準備、各種病害虫対策が遅れないように注意しましょう。

表2 各樹種の発育状況（平年は1986~2025年の平均値）

樹種	りんご	もも	おうとう	かき
品種	ふじ	あかつき	佐藤錦	会津身不知
調査地点	北会津町	神指町	北会津町	門田町
発芽日	本年	3/28(-5)	3/24(-3)	4/2(+1)
	昨年	3/31	3/28	4/9
	平年	4/2	3/27	4/1
展葉日	本年	4/2(-10)	-	-
	昨年	4/10	-	4/25
	平年	4/12	-	4/25
開花日	本年	未	未	未
	昨年	4/27	4/18	4/18
	平年	4/30	4/19	4/22
満開日	本年	未	未	未
	昨年	4/30	4/22	4/23
	平年	5/5	4/25	4/27

※()は平年差

表3（参考）各樹種の発芽および展葉状況（農業総合センター会津地域研究所、4月1日現在）

樹種	品種	発芽観測日			展葉観測日		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
りんご	ふじ	3月27日	4月1日	4月2日	未	4月11日	4月10日
かき	会津身不知	未	4月13日	4月15日	未	4月27日	4月23日

注1）平年は1996～2025年の平均値。

3 防霜対策

（1）事前準備

耐凍性は生育が進むにつれて低下し、開花期から幼果期にかけて最も弱くなります（表4）。温度計が正しく作動しているか確認しておきましょう。また、気象情報に十分注意し、防霜資材の準備とともに、地温の上昇を図るため下草は5cm程度に刈り込みましょう。また、空気や土壌が乾燥している場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を確保しましょう（乾燥条件は気温の低下が著しいため）。

表4 生育ステージ別の凍霜害を受ける温度（単位：℃）

樹種	品種	発芽期	開花直前	満開期
りんご	ふじ	-2.1	-2.0	-1.5
もも	あかつき	-2.5	-2.5	-2.5
おうとう	佐藤錦	-3.0	-1.7	-1.7

注意！

天気予報（週間予報）を毎日チェックし、降霜が予想されたら対策を早めに行いましょう！

また、他の樹種の生育ステージ別安全限界温度や、具体的な対策方法については、福島県農業振興課ホームページの技術資料を参照してください。

「作物別凍霜害及びひょう害技術対策（令和8年3月13日）」

URL : <https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/733456.pdf>

（2）事後対策

- ・凍霜害を受け、めしべの褐変や芽枯れが見られた場合は、**すぐに**市またはJAへ連絡してください。
- ・被害状況を確認の上、人工受粉を徹底し結実確保を図りましょう。特に、花粉がない若しくは少ない品種においては、注意が必要です。

4 各種病害虫対策

（1）病害

ア リンゴ腐らん病

伝染源となる枝腐らん、胴腐らんの発病部位は確実に削り取るかせん除し、塗布剤を塗りましょう。なお、伐採した被害枝幹や削り取った病患部は園内に放置せず適切に処分するとともに、展葉初期の防除を徹底しましょう。

病害虫は初発抑制が重要！

イ リンゴ黒星病

前年にリンゴ黒星病の発生が見られた場合は、展葉初期の防除を徹底しましょう。

ウ モモせん孔細菌病

本病は、発生初期の密度抑制が重要なため、定期的にはほ場を巡回し、**病斑の早期発見とせん除及び開花直前の防除を徹底し、春型枝病斑からの感染防止を図りましょう**。なお、開花後の薬剤散布は葉に薬害を生じることがあるので、防除時期が遅れないように十分注意しましょう。

薬剤散布後は、薬斑により病斑を発見することが困難となる場合がありますが、芽や新梢葉の生育不良を目安に、発病が疑わしい枝は見つけ次第せん除しましょう（図1～2）。

なお、春型枝病斑のせん除は、発病部位が残らないように病斑部の周辺を含めて**可能な限り基部から切り戻しましょう**（図3）。

春型枝病斑の発生は長期間にわたるため、せん除は定期的に複数回行いましょう。



図1 春型枝病斑の特徴



図2 葉斑によって発見困難な病斑

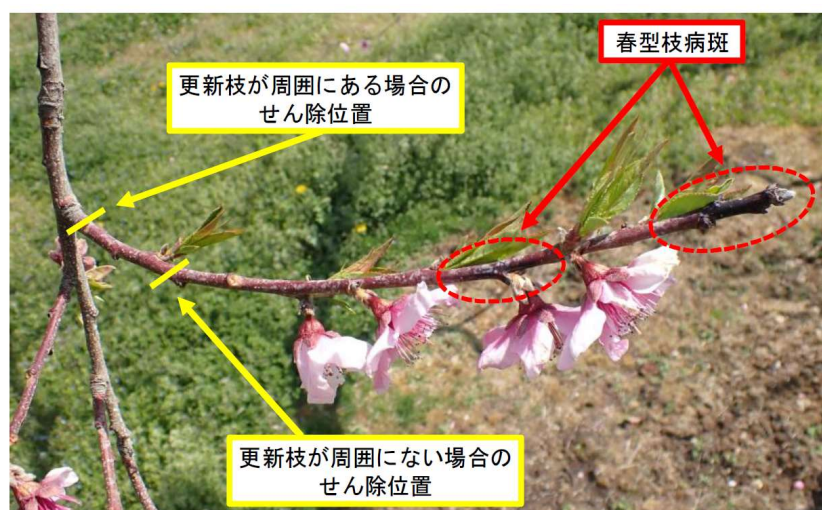


図3 春型枝病斑のせん除位置

エ ブドウ晩腐病

前年の房の取り残し部分、巻きひげ、結果母枝の枯死部などを丁寧に除去し、越冬病原菌密度の低下を図りましょう。また、発芽前の防除を徹底しましょう。

(2) 虫害

ア リンゴハダニ

農業総合センター果樹研究所によると、リンゴハダニ越冬卵のふ化盛期は、今後の気温が2℃高く推移した場合には、4月4半旬ごろと予想されます。なお、本年は冬期が温暖で経過したため、発生が予測よりも早まる可能性があります。越冬卵密度の高い園では、落花後以降の発生密度に注意し、要防除水準（1葉当たり雌成虫1頭以上）に達したら殺ダニ剤を使用しましょう。

5 その他

(1) せん定時の留意点

せん定が遅れている園地は、**開花するまでに**済ませましょう。

(2) 野そ（ネズミ）駆除

春は気温が高くなり、ネズミの活動が活発になるため、駆除適期です。

毎年、野そによる根の食害が見られる園地では、**4月中に**殺そ剤を使用してください。また、殺そ剤は年1回では効果が不十分となるため、春と秋の2回に使用しましょう。



○近年、農業災害が多発しています。農業保険（農業共済・収入保険）に加入しましょう！

○春の農作業安全運動（令和8年4月1日～5月31日）実施中！

農繁期の4～5月は農作業事故が発生しやすい時期です。特に摘らい・摘果時の落下防止に気をつけましょう！！